

教育施策説明会会場で寄せられた質疑・意見等（要旨）

令和7年12月14日分

番号	項目	質疑・意見等(要旨)	教育委員会の考え方	回答
1	今後の学校 ICT 環境整備	最近、教員の性犯罪が問題になっている。教員がタブレット端末で取った写真は、どのように管理しているのか。	<p>毎年、全教員向けの情報セキュリティや個人情報保護に関する研修を実施しており、その基本的な考え方に基づいて適切に運用しています。</p> <p>個々の写真を外部で一つひとつ確認する仕組みはありませんが、他自治体の教員による不祥事を重く受け止め、合同校・園長会を通じて、校内に不適切なカメラ設置がないか点検するよう校長へ指示するなど、対策を講じています。</p> <p>また、授業で写真を活用する際も、研修を通じてモラル教育を徹底するとともに、安全な管理体制の維持に努めていきます。</p>	学校 ICT 課長
2	警備体制の強化	頼りない警備員がいる。子どもたちのことをしっかりと見守ってくれる警備員を配置してほしい。	<p>令和6年度から昼間に警備員を配置する政策を試行的に進めており、子どもの安全を確保できる人材を事業者に依頼しています。一部に不安の声もありますが、全体としては適切に業務が遂行されていると評価しています。いただいたご意見は事業者へ伝え、今後もより信頼できる警備員の配置を求めています。</p>	教育政策課長
3	その他（学校対応）	<p>一部の小学校で教員による不適切行為や児童への人権・プライバシー侵害が起きている。</p> <p>教育委員会は、事実をどの程度把握しているのか。また、目黒区子ども条例に基づき、児童の安心・安全を最優先に対応してほしい。</p> <p>学校は隠蔽体質である。大事となるような事件が発生し、PTA から要望があっても、臨時保護者会は開催しないと聞いている。</p>	<p>教育委員会として、各学校の事案は随時報告・記録を確認し、重大性を判断して対応を指示しています。本件についても記録を把握しており、学校の対応状況については改めて確認します。</p> <p>目黒区子ども条例で示す安全確保と人権尊重を基本とし、その理念が教育委員会全体に浸透するよう、引き続き取り組んでいきます。</p> <p>教育委員会は当該事案を把握しており、保護者からの相談には事実確認のうえ学校へ必要な指導助言を行っていません。保護者からの申し出によって児童が不利益を受けることはなく、問題があれば学校や教育委員会へ直接相談してください。</p> <p>臨時保護者会の開催は学校判断ですが、隠蔽と受け取られないよう教育委員会としても適切に助言し、学校で解決が難しい場合は個別対応を継続し、児童の立場を最優先に丁寧に対応していきます。</p>	<p>教育長</p> <p>教育指導課長</p>

番号	項目	質疑・意見等(要旨)	教育委員会の考え方	回答
4	警備体制の強化	<p>教室や死角になる校内に防犯カメラ設置を設置してほしい。</p> <p>※アンケートフォーム：同意見1件</p>	<p>本区では外部侵入対策として防犯カメラを設置していますが、教室内など内部を撮影するカメラは設置していません。内部カメラは監視の印象を与えるため、保護者や児童の理解を得る必要があります、十分な合意形成が不可欠です。</p> <p>他区の事例も踏まえ、今後の研究課題として検討しつつ、学校からの要望を踏まえて対応を進めていきます。</p>	教育政策課長
5	その他(学校対応)	<p>半年以上にわたり、問題のある教員について学校の管理職へ相談してきたが、改善が見られず解決が難しいと判断したため、最後の手段として教育委員会に対応を求めに来た。</p>	<p>本件は既に対応を進めていますが、引き続き教育委員会と学校が連携しながら、保護者の皆さまと共に丁寧に取り組んでいきます。</p>	教育指導課長
6	不登校児童・生徒への取組	<p>息子が校内別室で学んでいるが、自習のみで教育機会が保障されていないと感じている。授業のオンライン視聴など、自習以外の方法で子どもに学習の機会を提供してほしい。校内別室が始まったばかりということであるが、校内別室とクラスの連携や支援員同士の連携、保護者と教職員の情報共有の連携をお願いしたい。</p> <p>めぐろエミールも自習中心で利用しづらく、開室時間が学校と合わない。送迎ルールも含めて、見直してほしい。子どもが安心して学べる選択肢を増やしてほしい。</p>	<p>不登校支援は教育機会確保法に基づき、不登校児童・生徒の一人ひとりの状況に応じた支援と安心して学べる環境整備が求められています。</p> <p>校内別室は中学校でモデル実施後、小学校でも試行中ですが、支援体制の質や教職員との連携強化が大切であると認識しています。校内別室に長期滞在させるのではなく、児童の心の回復状況に応じて教室復帰を支える仕組みを検討するとともに、オンライン活用や情報共有についてもより良い形で運営ができるように考えていきます。</p> <p>めぐろエミールについては拡充を進めており、利用場所の増設や運営改善の検討を進めていきます。また今後は、他自治体の取り組みも参照しながら、目黒区の子どものに必要な多様な学びの場を整備し、より良い不登校支援に取り組んでいきます。</p>	教育支援課長
7	その他(学校図書館)	<p>学校図書館が常にかいており、読書活動が推進できるように、学校司書の常駐化をお願いしたい。</p> <p>※アンケートフォーム：同意見4件</p>	<p>学校図書館に司書が常駐していない現状は認識しており、図書館支援員や委託業務を活用して運営を行っています。</p> <p>図書館の役割は読書センターと学習センターとしての機能を持ち、調べ学習における指導は教員が担うものですが、図書館支援員の休み時間等の貸出業務も重要であると考えています。</p> <p>貸出業務や蔵書管理、IT化などについては支援員や委託業務を併用しながら運営しており、現行体制を維持しつつ教育活動に活用していく方針です。引き続き、この形で行わせていただければと思います。</p>	教育指導課長

番号	項目	質疑・意見等(要旨)	教育委員会の考え方	回答
8	学校施設の計画的更新	大岡山小学校は区内で二番目の規模となる約 800 名の児童が在籍し、校庭・校舎ともに狭隘化が深刻である。現校舎の建て替えは困難な状況にあるため、旧第八中学校跡地が空くタイミングで、大岡山小学校を旧第八中学校跡地へ移転する方針でよいか。	大岡山小学校については、区としても、校庭・校舎ともに非常に狭隘である状況を認識しています。現在、移転先として旧第八中学校跡地へ移す案と、現在の大岡山小学校を建て替える案の二つを検討しています。しかし、大岡山小学校の敷地内で仮設校舎を設けて建て替えることは、スペースの制約から現実的ではありません。そのため、旧第八中学校跡地の校舎を仮設校舎として活用し、一時的に児童を移転させた上で現校舎を建て替える案も想定しています。 どちらの案を選ぶかは今後の検討状況によりますので、詳細をお示しできる段階になりましたら、改めてご報告いたします。	学校施設計画課長
9	その他（コミュニティスクール）	コミュニティスクールの制度自体には魅力を感じている。 委員として参加できる人物が限定されているか。地域組織の長や委員経験者など、特定の経歴が必要との話もあり、一般の区民である自分には参加できないのではないかと懸念している。 また、委員数に限りがあるのであれば、傍聴や意見を吸い上げる仕組みなど、より多くの区民が関われる方法を検討すべきである。 ※アンケートフォーム：同意見1件	コミュニティスクールは学校運営協議会を設置した学校のことで、令和7年度は小学校2校・中学校1校で実施し、8年度は計11校、9年度までに約半分、11年度までに全ての学校・園に設置していく方針を掲げています。 委員は6～10名で構成し、地域住民、PTA、学識経験者の方々から校長の推薦を経て教育委員会が委嘱しています。協議会では学校の課題を共有し、地域全体で支える体制づくりを進めており、地域の町会・自治会・商店街など多様な団体と連携して課題解決を図っています。 また、会議は傍聴可能で、学校協議会の様子等につきましては、お便りとして、地域の皆様にも配布するとともにホームページ等にも掲載するような形で周知を図っていきます。	生涯学習課長
10	その他（コミュニティスクール）	地域に開かれた学校作りというなら、若者や自由な発想をもっている人たちの力を活用するべきではないか。	若者や子どもの社会参画は非常に重要だと考えています。目黒区子ども条例にもその理念が明記されており、さらに子ども基本法の制定により、支援対象が従来より広く捉えられ、社会参画や意見表明の機会を意識的に確保することが求められています。 また、区全体としても「子ども若者部」への体制再編を進め、若者の意見を施策に反映する取り組みが進んでいます。教育委員会としても青少年育成の取り組みを継続しつつ、若者の意見が反映される場づくりや、子どもたちが社会参画できる機会の拡充が必要であると考えており、今後もその実現に向けて努力していきます。	教育長

番号	項目	質疑・意見等(要旨)	教育委員会の考え方	回答
11	不登校児童・生徒への取組	めぐろエミールを見学し、他区と比較して自由度が低く見えた。また区内で不登校に関する情報を得ようとしたが、資料が少なく、世田谷区の支援体制と大きな差を感じている。	めぐろエミールは学習支援だけでなく、不登校の児童・生徒が安心して過ごせる居場所として、学生ボランティアや指導員との関わりを通して社会とのつながりを保つことを目的に運営しています。しかし、小学生利用の増加など状況の変化に伴い、支援内容を見直す時期にあると認識しており、世田谷区を含む他自治体の好事例も参考に改善を検討いたします。 また、区の不登校対策は周知が不足していたことを反省し、講演会やウェブサイト等による情報発信を強化していきます。	教育支援課長
12	今後の学校ICT環境整備	教育の中で、考える力が一番大切だと思っている。子どもがAIを日常的に使うことで、思考力の低下など大きな影響が生じるのではないか。	AIを子どもが利用することに伴う思考力低下の懸念については、区としても十分に認識しており、AI活用には慎重な立場を取っています。AIは便利である一方、自ら考えずに回答を得てしまうため、答えを鵜呑みにせず、疑うことを含めて考える力を育てる指導が重要であると考えています。目黒区では、子どもが課題を自ら見つけ計画し、試行錯誤しながら解決する「自己選択学習」に取り組み、思考力・判断力・表現力等の育成を図っていきます。 また、主体的・対話的で深い学びを通じて、子どもが自ら考え、他者と意見を交わし、学びを深める機会を重視しており、今後もAI時代に対応した教育の在り方を検討していきます。	教育指導課長
13	不登校児童・生徒への取組	校内別室の児童が増えていると聞かすが、その理由について学校から保護者への十分な情報共有がなく、把握できていない状況である。子どもたちが一日も早く、安心して笑顔で教室へ戻れるよう十二分に配慮することを、教育委員会から校長へ働きかけてほしい。	校内別室は、小学校では導入したばかりであり、現時点では試行錯誤の段階であると認識しています。別室において「必ずこれをやる」と一律に決めると、休養や心の安定を目的に利用している子どもにとって負担となり、本来の意義が損なわれる可能性があります。教育委員会としては、児童・生徒の一人ひとりの状態を丁寧に把握し、休養が必要なのか、再び学びに向かう準備段階にあるのかを見極め、それぞれに応じた支援を行うよう学校へ伝えていきます。加えて、教員の支援力向上のため研修にも力を入れており、来年度も不登校支援に関する教職員研修を強化していきたいと思っています。今後も学校と伴走しながら、適切な支援に努めていきます。	教育支援課長

番号	項目	質疑・意見等(要旨)	教育委員会の考え方	回答
14	その他(教員の指導姿勢)	教員の多忙は理解しているが、価値観を押し付けず個性を尊重し、子どもと共に学び続けてほしい。	教員が多忙な中でも子どもに寄り添い、大人自身も学び続ける姿勢は重要であると考えています。就学前施設では、子どもたちが遊びを通して自ら課題解決の方法を考える機会が多く設けられています。一方、小学校では学習指導要領に沿って学習内容を教えますが、単に「こうするものだ」と伝えるのではなく、子どもがこれまでの経験を踏まえて「この場面ではどうすればよいか」を考えられるよう導くことが大切です。教員が価値観を押し付けるのではなく、子どもが自ら判断し行動できる力を育むことが重要であると認識しています。こうした視点を小学校現場にしっかりと伝えていき、小学校教育の充実に努めていきます。	教育指導課長
15	図書館サービスの充実	パブリックコメントを実施している「目黒区子ども読書活動推進計画素案」と現行計画を比較したい。	目黒区子ども読書活動推進計画は、目黒区として初めて策定するものであり、比較対象となる現行計画は存在していません。 現在公表している素案に対して、皆さまからパブリックコメントを通じてご意見をいただき、その内容を反映した上で初めて正式な計画を策定いたします。	八雲中央図書館長
16	その他(学校図書館)	外部委託業者による選書・廃棄の質に問題があり、シリーズ物の一冊のみが廃棄候補となるなど、現場から業務が適切に機能していないとの声が上がっている。外部委託費が大きい中で見合う効果が得られていないのであれば、委託の見直しが必要であり、図書館支援員の時間拡充や学校司書を配置すべきである。 ※アンケートフォーム：同意見1件	学校図書館には、外部委託業者・図書館支援員・学校の三者が関わり、それぞれ役割分担をもって運営しています。外部委託業者は蔵書管理などのバックグラウンドの業務を、図書館支援員は児童対応やレファレンス業務を担い、学校は全体の計画・判断を行う立場です。 今回ご指摘いただいたように、シリーズ物の一冊のみを廃棄候補とするなど、外部委託による選書・廃棄が適切でない事例については、学校側の確認も含め改善が必要と認識しています。業者の判断をそのまま用いるのではなく、学校と支援員が内容を確認し、適切に調整する体制が必要です。しかし、現場で連携や役割分担が十分に共有されていない状況が見られるため、今後は学校現場への説明と改善を徹底していきます。	教育指導課長